

日本医師会の 女性医師支援に関する取り組みについて

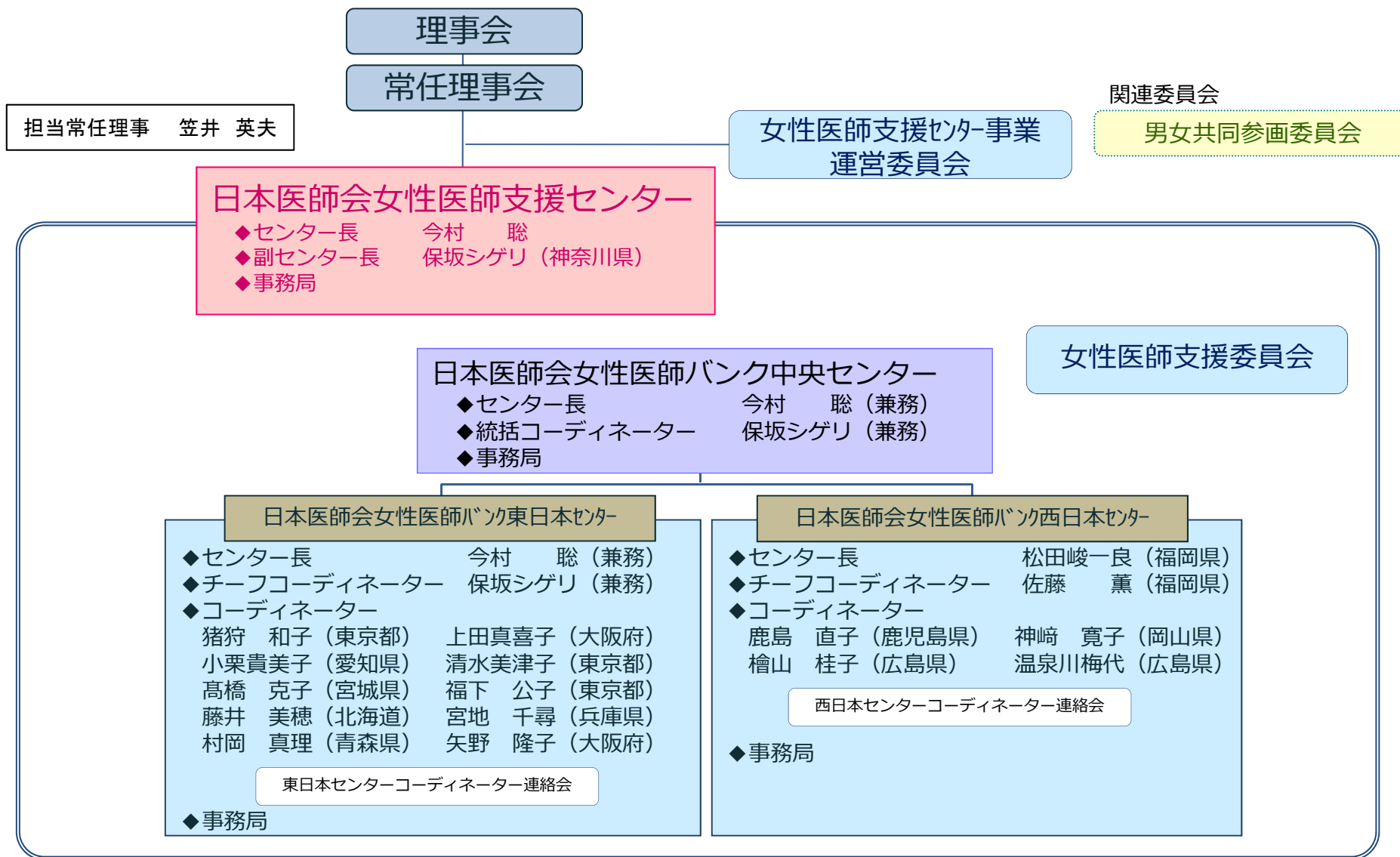
日本医師会常任理事
笠井 英夫

女性医師支援センター事業について

臨床医に占める女性医師の割合は約15%であるが、国家試験合格者では女性医師の占める割合は3分の1となっており、今後女性医師数は急増していくと予想される。女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図り、もって医師確保対策に資することを目的とする。（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）

- 平成18年11月
厚生労働省より「医師再就業支援事業」を受託
- 平成19年1月
日本医師会女性医師バンク開設（就業継続支援、再研修含む）
- 平成21年4月
「医師再就業支援事業」改め「女性医師支援センター事業」へ
（女性医師の勤務継続への支援に重点を置き、更なる事業の発展を目指す。）

女性医師支援センター事業 組織図



(敬称略)

※ コーディネーターは、女性医師支援委員会委員に就任

平成27年度女性医師支援センター事業 事業計画

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修を含む）
2. 医学生、研修医等をサポートするための会
3. 各都道府県女性医師相談窓口への支援
4. 「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
5. 女性医師支援センター事業ブロック別会議の実施
6. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
7. 「2020.30」推進懇話会の開催
8. 大学医学部・医学会の女性医師支援担当者連絡会の開催
9. 「女性医師の勤務整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の実施
10. 学会総会等へのブース出展を含めた広報活動
11. 「2020.30実現をめざす地区懇談会」の開催
12. 女性医師の就労環境等に係る実情把握調査の実施

女性医師バンクについて

「日本医師会女性医師バンク」平成19年1月30日開設

- ☆ 会員・非会員を問わず利用できる
- ☆ 求人・求職共に無料
- ☆ 現役医師のコーディネーターが、相談・マッチングにあたる

◇求職登録者数 : 197名 (累計763名)

◇求人登録施設数 : 1,781施設 (延べ2,020施設)

◇求人登録件数 : 1,118件 (延べ4,945件)

◇就業実績 : 447件

内訳) 就業成立 : 429件

再研修紹介 : 18件

(平成27年11月末現在)

医学生、研修医等をサポートするための会

女性医師が生涯にわたりもっている能力を十分発揮するためには、職場や家庭における男性の理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが求められる。本講習会等を通じ、医学生や若い医師がキャリアを中断せずに就業を継続できるよう、多様な医師像のモデルを提示する。

◇ 都道府県医師会等に対し、開催を依頼

(平成18-19年度は男女共同参画委員会が都道府県医師会と共催)

平成18年度*	10
平成19年度	25
平成20年度	44(医師会32、その他12)
平成21年度	47(医師会34、その他13)
平成22年度	56(医師会43、その他13)
平成23年度	57(医師会44、その他13)
平成24年度	60(医師会44、その他16)
平成25年度	65(医師会51、その他14)
平成26年度	70(医師会55、その他15)

*平成18年度はモデル事業として10道県のみ開催

◇ 開催に掛かる費用のうち、30万円を上限として、本会が負担

平成26年度女性医師支援センター事業ブロック別会議

地域からの声をお聞かせいただくと同時に、本事業へのご理解を深めていただくという、双方向による情報伝達ならびに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より全国6ブロックにて開催。

◇北海道・東北ブロック（担当：福島県医師会）

日 時：平成27年11月21日（土） 15時00分～

場 所：コラッセふくしま

◇関東甲信越・東京ブロック（担当：日本医師会）

日 時：平成28年1月23日（土） 15時00分～

場 所：日本医師会館

◇中部ブロック（担当：三重県医師会）

日 時：平成27年12月20日（日） 13時35分～

場 所：名古屋市内ホテル

◇近畿ブロック（担当：兵庫県医師会）

日 時：平成27年11月28日（土） 15時30分～

場 所：神戸市内ホテル

◇中国四国ブロック（担当：岡山県医師会）

日 時：平成27年11月14日（土） 15時00分～

場 所：岡山コンベンションセンター

◇九州ブロック（担当：宮崎県医師会）

日 時：平成27年10月31日（土） 14時00分～

場 所：宮崎市内ホテル

女性医師支援事業連絡協議会の開催

各地で実施されたブロック会議の内容を、全国規模で情報共有し、意見交換を行う機会として開催。

(参考)

平成26年度 女性医師支援事業連絡協議会

次 第

日時：平成27年2月27日（金）
場所：日本医師会館 大講堂

開 会

センター長挨拶

議 事 1 国における女性医師支援の取組

厚生労働省大臣官房 審議官（医政担当）（老健局、保健局併任） 福島靖正 先生

会長挨拶

議 事 2 女性医師支援センター事業ブロック別会議 開催報告

（各ブロック会議の総括や特徴的、先進的な取り組みの紹介）

①九州 佐賀大学医学部社会医学講座講師 原めぐみ 先生

②中国四国 岡山県医師会理事 神崎寛子 先生

③近畿 奈良県医師会勤務医部会理事
奈良県立医科大学女性研究者支援センター講師 須崎康恵 先生

④中部 福井県医師会女性医師対策委員会委員長 里見裕之 先生

⑤関東甲信越・東京 埼玉県医師会常任理事 利根川洋二 先生

⑥北海道・東北 北海道医師会女性医師等支援相談窓口コーディネーター 足立柳理 先生

質疑応答（全体）・総合討論

閉 会

出席者：147名

医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助

勤務継続及び復職の支援の一環として、育児中の医師の学習機会を確保するため、各医師会が主催する講習会、講演会、研究会等に託児サービスを併設する費用を補助する。

対象：都道府県医師会または郡市区医師会が主催する講習会、講演会、研究会 等

【利用実績】

	利用医師会数	利用者数(子どもの数)
平成21年度	14医師会	102人
平成22年度	20医師会	231人
平成23年度	20医師会	174人
平成24年度	23医師会	284人
平成25年度	20医師会	343人
平成26年度	23医師会	266人

上記には、日本医師会利用分も含む

「『2020.30』推進懇話会」について

日本医師会では、第3次男女共同参画基本計画の閣議決定（平成22年12月）を受け、本会役員や、委員会委員への女性医師の積極的登用を図るため、一定の目標を定めている。「2020.30」推進懇話会は、その目標達成のための具体的な施策として、女性医師に「本会の組織・運営・活動に関わる理解を深め、将来、本会の活動に参加して頂く」ことを目的として、平成23年度より開催している。

平成27年度 『2020.30』推進懇話会

日時：平成27年10月18日（日） 13：00～16：00 場所：日本医師会館 小講堂 ほか 司会：常任理事 笠井 英夫

1. 開 会

2. 挨拶

会長 横倉 義武 （代読：女性医師支援センター長 今村 聡）

3. オリエンテーション

女性医師支援センター副センター長 保坂 シゲリ

4. グループディスカッション

テーマ①. 産休の代替医制度（各科地域毎にシステムがつかれるか？）

②. 専門医制度の変更に伴う今後の問題点について（日医生涯教育制度との関連を含めて）

③. 各地での保育制度について（特に病児保育について）（充実、拡大するための方策を含めて）

④. 女性医師が責任ある立場を引き受けることや、社会貢献に積極的になるための教育、支援について
（女性がトップになることを望まない傾向の原因を含めて）

⑤. 医師会の役割、これからの医師会のあり方

⑥. 2020.30を実現するために必要なことは？

5. 意見交換（茶話会形式） 進行：女性医師支援センター副センター長 保坂 シゲリ

6. 閉 会

参加：108名

大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会の開催について

- 【目 的】
- ・本会女性医師支援センターの取り組みの周知
 - ・各大学医学部および各医学会における女性医師支援や男女共同参画に関する取り組みについての情報（意見）交換
- 【開催日時】 平成27年12月18日（金）連絡会 14時～16時（於：日本医師会大講堂）
茶話会 16時～ （於：日本医師会小講堂）
- 【参加者】
- ・各都道府県医師会から推薦いただいた、管内の大学医学部の女性医師支援や男女共同参画の担当者
 - ・各日本医学会分科会（123学会）の女性医師支援や男女共同参画の担当者
 - ・都道府県医師会担当役員等
- 【内 容】
1. 日本医師会の女性医師支援に関する取り組みについて
 2. 事例発表
 - i. 大学の取り組み（2大学）
 - ii. 学会の取り組み（2学会）
 3. 意見交換
 - ・日医の取り組みについてのご意見、ご要望等
 - ・各大学、各学会の取り組みについてのご質問等

（共催：日本医学会連合）

「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」

【標記講習会について】

目的：女性医師がキャリアを中断することなく、就業を継続するためには、病院長を始め上司・同僚の理解が不可欠であることから、女性医師に関する就業上の問題点を明らかにし、子育て支援についての理解を深める

- ・ほぼすべての都道府県医師会において開催することができたこと、また、対象となる病院長、病院開設者・管理者等の交代が、それほど頻繁ではないこともあり、平成21年度以降は一旦休止。
※平成25年度より再開。

年度	開催回数 (都道府県医師会と共催)
平成18年度	22回
平成19年度	28回
平成20年度	31回
平成25年度	22回
平成26年度	24回



法律や制度面での変化

病院長等、対象者の入れ替わり



標記講習会を再開し、
女性医師の勤務環境の整備をさらに推進

学会総会等へのブース出展を含めた広報活動①

◇ブース出展◇

1. 第29回日本医学会総会2015関西 4/11-13 於：国立京都国際会館 ブース来場者：228人
2. 第112回日本内科学会講演会 4/10-12 於：みやこめっせ ブース来場者：186人
3. 第119回日本眼科学会総会 4/16-19 於：ロイトン札幌 ブース来場者：145人
4. 第118回日本小児科学会学術集会 4/17-19 於：大阪国際会議場 ブース来場者：299人
5. 第79回日本循環器学会学術集会 4/24-26 於：大阪国際会議場 ブース来場者：333人
6. 第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 5/20-23 於：東京国際フォーラム ブース来場者：140人
7. 第64回日本アレルギー学会学術大会 5/26-28 於：グランドプリンスH新高輪 ブース来場者：209人
8. 第114回日本皮膚科学会総会 5/29-31 於：パシフィコ横浜 ブース来場者：138人
9. 第26回日本小児科医会総会 フォーラム6/13-14 於：別府国際コンベンションセンター ブース来場者：47人
10. 消化器関連学会（JDDW2015 TOKYO） 10/8-11 於：グランドプリンスH新高輪 ブース来場者：67人
11. 第43回日本救急医学会総会・学術集会 10/21-23 於：東京国際フォーラム ブース来場者：158人
12. 第28回日本内視鏡外科学会総会 12/10-12 於：大阪国際会議場

学会総会等へのブース出展を含めた広報活動②

◇シンポジウム、セッション等◇

1. 第29回日本医学会総会2015関西 於：国立京都国際会館
学術講演 柱15.効率的な医療人養成制度
企画2：女性も男性も質の高い働き方ができる時代をめざして 4月11日（土）
2. 第55回日本呼吸器学会学術講演会 於：東京国際フォーラム
特別報告『本学会の将来展望－男女共同参画、呼吸器科医師増加策、学術活性化の取り組み』
4月19日（日）
3. 第116回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 於：東京国際フォーラム
第54群「男女共同参画」 5月22日（金）
4. 第89回日本消化器内視鏡学会総会 於：名古屋国際会議場
附置研究会「第1回女性内視鏡医のキャリアサポートを目指した教育研修体制確立に関する研究会」
5月31日（日）

「2020.30実現をめざす地区懇談会」の開催

「2020.30」実現に向けて、各地でディスカッションいただくことを目的とし、また、本活動に参画いただける方々との連携を深める機会としても活用いただく。

1. 実施体制 日本医師会女性医師支援センター（以下、センター）が主催。各地で女性医師支援活動をされ地区懇談会を開催していただける方には実施責任者となっていただく。各医師会等、他団体との共催も可能。（ただし、会の名称を併記）。参加人数は、10～20名程度を想定。
2. 実施期間 平成27年2月～平成28年3月（予定）
3. 費用 ①お茶代、場所代等として、一部をセンターが実費負担。
②事務経費（通信、印刷）として1開催につき一定額を負担。
※参加者旅費は対象外。
4. 会の名称 名称は「2020.30実現をめざす地区懇談会」とし、それに各地域においてふさわしい呼称を加えていただく。
推奨例) 「2020.30実現をめざす地区懇談会 ～紅の会～」
「2020.30実現をめざす地区懇談会 ～暁の会～」
「2020.30実現をめざす地区懇談会 ～昴の会 女性医師に輝きを～」 等
5. その他 地区懇談会には、女性医師支援センターの副センター長ならびに、日本医師会の女性医師支援委員会委員、男女共同参画委員会委員も参加の場合あり。

日本医師会女性医師支援センター ホームページ



(TOPページ)

《www.med.or.jp/joseiishi/》

【主な内容】

◇支援情報

- ・各種制度の紹介
- ・女性医師バンクの事例紹介
- ・活躍中の女性医師の紹介

◇よくあるご質問

- ◇各地の女性医師相談窓口のホームページへのリンク 等

各種の支援情報を発信することにより、事業のより一層の充実を図る